

きとんの事業所支援プログラム

作成・公開日 2024年12月26日

事業所情報

- 事業所名 こどもデイサービスきとん
- 営業時間 8:30~17:30
- サービス提供時間 児童発達支援 8:30~12:30 (平日)
8:30~13:30 (土曜)
放課後等デイサービス 14:00~17:00 (平日)
8:30 ~13:30 (学休日)
- 送迎実施の有無 有

基本理念



宝物を育てていく

支援方針

- ・楽しみながらいろいろな経験という名の宝物を増やします。
- ・保護者の方といっしょにみなさんの宝物であるお子様を育てます。
- ・規定概念にとらわれず、その子にとっての宝物をみんなで一緒に探し育てます。
- ・心の柔軟性を養い自己肯定感という名の宝物を育てていきます。

支援内容

健康・生活

児童発達支援



- ・デイサービス利用日のスケジュールに慣れ、生活習慣を正しく保てるよう支援します。
- ・所属先と連携を取り、集団で力を発揮できるよう苦手なところの補填を行います。
- ・排泄、着脱、整容など自力でできるよう促します。

放課後等デイサービス



- ・放課後デイサービス利用日のスケジュールに慣れ、自主的に管理できるように促します。
- ・学校での様子を聞き取り、心と体のバランスをアセスメントし、気持ちよくご家庭に帰れるように支援します。
- ・保護者の方や関係機関と連携を取り、生活習慣を正しく保てるよう支援します。

支援内容

運動・感覚

児童発達支援

- ・サーキット、外遊びなどを通してダイナミックな体の動き・感覚を育てるよう支援していきます。
- ・制作活動やおやつなどの時間を利用して手先の巧緻性・感覚を育てるよう支援していきます。
- ・苦手な感覚をアセスメントし、その感覚に対する工夫を一緒に見つけていきます。
- ・活動や制作時の椅子は丸椅子を基本とし、体幹機能を育てるよう支援していきます。

放課後等デイサービス

- ・サーキット・外遊び・昔遊びなどを通してダイナミックな体の動き・感覚・複合的な動きの習得を目指して支援していきます。
- ・制作活動やお弁当・おやつの時間を利用して手先の巧緻性・感覚を育てるよう支援していきます。
- ・苦手な感覚に対して合理的配慮を見つけるよう支援していきます。
- ・学習や制作時の椅子は丸椅子を基本とし体幹機能を育てるよう支援していきます。

支援内容

認知・行動

児童発達支援

- ・色や数・大きさなどの概念理解を促すよう言語聴覚士と保育士で活動プログラムを作成し、個別・集団トレーニング、活動を通して獲得できるよう支援していきます。
- ・行動の自己コントロールができるよう、SSTやゲームを取り入れ、個別の目標を設定し、取り組んでいきます。
- ・認知能力のみにとどまらず、非認知能力の向上にも注目し、総合的に支援プログラムを組みます。

放課後等デイサービス

- ・学習の基礎となる認知能力をアセスメントし、学校で実力を発揮できるよう個別プログラムを組んで支援していきます。
- ・「1度の注意はOK」を基本に「気を付ける」より「注意されればきける」を目指して行動コントロールを支援していきます。
- ・年齢に応じた人との距離やかかわり方を個別プログラムを組み、保護者の方や関係機関と協力して支援していきます。

支援内容

言語・コミュニケーション

児童発達支援

- ・個人の発達状況に応じたプログラムを言語聴覚士が作成し、個別・集団トレーニング、活動を通して言語・コミュニケーションの発達を促していきます。
- ・個人の発達状況・年齢を考慮し、理解力のみならず発信する力を育てるよう、日々の経験の中から支援していきます。
- ・歌やしりとりなど遊びを利用しメタ言語を育てるよう支援していきます。

放課後等デイサービス

- ・論理的思考を養い、会話内、学習内で活かせるよう支援していきます。
- ・保護者の方や学校と連携して個人の発達に応じたプログラムを言語聴覚士が作成し、文字学習、文章読解・言語表現力を育てるよう支援していきます。
- ・個人の発達に応じたプログラムを言語聴覚士が作成し、タブレットや映像を取り入れ、書字だけではない言語表現を学べるよう支援していきます。
- ・個人の発達に応じて必要な合理的配慮を関係機関と協力して検討していきます。

支援内容

人間性・社会性

児童発達支援

- ・個人の発達状況を見極め、遊びの発達から他者とのかかわりを段階的に促していきます。
- ・簡単なルールのあるゲームを通して負けや失敗に対する耐性を育てるよう支援していきます。
- ・遊びの中から「譲る」「待つ」スキルの獲得を目指します。
- ・絵本などの活動から他者の気持ちの理解や共感力を育てるよう支援します。

放課後等デイサービス

- ・個人の発達状況・特性を考え、集団参加の適応を見極めていきます。お子さん自身の利益を考え、無理に集団参加をさせることは控えております。
- ・「個としての育ち」と「社会の一員としての育ち」の両方を考慮したプログラムを組み、バランスよい育ちを支援していきます。
- ・ルールのあるゲームやSSTを通して負けや失敗に対する耐性を育てるよう支援していきます。
- ・読み聞かせや動画鑑賞などの活動を通して他者の気持ちの理解や共感力、自分との相違点を考える力を育てるよう支援します。

家族支援

- ・連絡ノートや送迎時の伝達を通して日頃の様子を共有します。
- ・定期的に保護者の方と面談を行い、情報共有と対策、要望とうを話し合います。
- ・行事などを通して日頃のお子様の様子を観察いただき、職員と会話できる機会を提供します。

移行支援

- ・学校やこども園などと密に連絡を取り合い、適切な利用日や時間の調整を行います。
- ・児童クラブとの併用や状態改善による移行について連絡を取り合い、情報共有をします。
- ・ライフステージでの環境変化、就学や進学による移行についての段階的な情報伝達・共有を行います。

地域連携・地域支援

- ・お子さんの所属先の学校やこども園と定期的に連携会議を行い、情報の提供・共有・役割分担について話し合います。
- ・利用者以外方どなたでもお子さんの発達が気になる保護者の方の相談を受け付けます。

職員の質の向上

- ・毎日、児童発達支援終了後放課後等デイサービス開始前までの時間を利用し、利用児の情報共有・対策についてのチャット時間を設けます。
- ・毎月1回ランチミーティングを開催し、支援の方法や各種情報共有を行います。
- ・事業所内研修を行い、質の向上に努めます。（虐待防止・身体拘束の適正化・防災・感染予防など）
- ・事業所外研修も積極的に参加し、質の向上に努めます。また、復命研修も行い、職員間での情報共有にも努めます。
- ・職員個人に研修休暇を2日×2回/年設定し、個々の質の向上にも協力していきます。



行事

- ・ **保護者参加型行事**・・・保護者参加型の行事では日頃のお子さんの支援の様子をご覧いただくとともに、職員の支援のもと、気兼ねなく、楽しんでいただけるものをご用意しております。

実施行事：佐野植物園へのお出かけ、きとんdeBBQ、うみたまご、ハーモニーランド、いちご狩りなど

- ・ **子どものみ参加行事**・・・長期休暇を利用して、子どもたちと職員で行事を行います。行事を通して非日常の経験や季節を感じる経験をしていきます。

実施行事：ブルーベリー狩り、夏季休暇のプール、バナナケーキを作ろう、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティーなど

